

「池之原小学校の史跡活用の取組」

1 学校名

東串良町立池之原小学校

2 学年・人数

6年生（計51名）

3 日時・場所

学習会の日時・場所

令和元年6月28日（金） 10時20分～12時

東串良町立池之原小学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

国指定史跡 唐仁古墳群（くにしていしせき どうじんこふんぐん）

(2) 特徴

唐仁古墳群は昭和9年に指定された古墳群で、130基からなり、県下最大の規模を誇る。また、中心にある1号墳は全長185mほどあり、九州でも3番目に大きな古墳となっている。

5 保存会や地域との連携の具体

池之原小学校6年生を対象に総合的な学習で古墳時代についての理解を深めるために実施した。最初に6年生全体へ社会教育課職員より写真や映像などを使い説明を行った後、各教室に分かれ唐仁古墳群についての調べ学習を行った。

6 活用の取組の工夫した点

唐仁古墳群は県下最大の古墳群であるにも関わらず、地域の人や子供たちにあまり知られていないのが現状である。しかし、今回の学習会では現地で古墳を直接見ることができなかったため、写真や映像、実際に古墳から出土した遺物などを活用した学習会を行った。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



【全体での説明の様子】



【調べ学習の様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【教職員】

- ・ 唐仁古墳群について，写真等を活用して詳しく教えていただいたので，子供たちも興味をもって学習を進めることができた。その後も自主的に調べ学習をする等，ふるさとについて意欲的に調べようとする児童も見られた。